



ボランティアセンターだより

第1回 食でつなぐ！南あわじの輪！架け橋パントリープロジェクト



食材の無料配布を行います！

長期化する新型コロナウイルスの感染拡大により、生活に不安を感じている方が増加しています。今回の取り組みは、生活に不安を感じられている南あわじ市内に在住・在学の方へ寄付などで集まった食材を無料で提供し生活を支援するものです。そして食材を通じて地域の輪をひろげます！

対象 生活に不安を感じられている方
(休業中の方、収入が減少している方、学生、母子父子世帯など)

内容 お米・レトルト食品・缶詰・インスタント食品
・飲料・乾麺・調味料など

受取場所 南あわじ市広田広田1064番地
(南あわじ市社会福祉協議会)



日程 3月28日(日) 10:00~12:00
3月29日(月) 9:00~17:00
3月30日(火) 9:00~17:00

要 ※ 他の日程・時間をご希望の方は、ご相談ください。

事前申込 メール・FAX・郵送・電話で申し込みください。
後日、整理券を郵送します。(3月22日(月)メ切)

工夫しながら
活動しています



コロナでボランティア活動も制限が多くなっています。特に福祉施設での活動は難しく、内容を変えて活動している方が多いです。その例として、これまで施設で傾聴ボランティアをしていたグループのみなさんは、感染症対策をした上で、地域の高齢者の方の自宅に伺ってお話を聞くボランティアを始めました。少しの時間ですが、とても喜んでくださっているそうです！工夫しながら、細く長〜い活動を続けてほしいですね(*^-^*)

テーマ型

コロナに負けるな！
子どもの居場所応援プロジェクト！



第1回 赤い羽根

ひよっこバザー

3月28日(日)開催

とき 10:00~12:00

※3密を避けるため、第1部(25組)と第2部(25組)にわけて実施します

ところ 南あわじ市社会福祉協議会前駐車場
(南あわじ市広田広田1064番地(旧緑庁舎))

入場制限

※事前に申し込みが必要です(メ切:3月19日)

下記問い合わせ先にご連絡ください
後日、先着順に入場整理券を郵送でお送りします
入場整理券1枚につき、2名様まで来場できます
『赤い羽根ひよっこバザー』の売上金はすべて、
南あわじ市の子どもの居場所や活動を支援する事業へ配分します！

一緒に運営してくれる
ボランティアさんも
募集しています



発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL: 44-3007 FAX: 44-3037
MAIL: info@minamiawaji-shakyo.or.jp





「助けられ上手」って何だろう？

「ちょっと困った…(´・`)」 「どうしたらいいのかな(・・?)」という経験はありますか？自身で頑張っ解決しようと思う人が多いのではないのでしょうか！？

そんな時、ちょっと手助けしてもらったり、相談に乗ってもらったりする間柄が友人間やご近所さんにあると随分と心強いことと思います。でも、一般的には「助けてって言えへんわ！」「それを言える人はなかなかおらへんわ！」「自分で何とかする！」と思われる方が多いようなのです。そこで、『あなたも助けられ上手さんになろう！』と2月17日に「助けられ上手講座」を開催しました。

1. 寸劇で「助けられ上手」を考えよう！

南あわじ市ボランティアセンターには「アワえもん」という未来から来たド○えもんのお友達がいます。いつもはポケットからボランティアさんをたくさん出してくれて、困った人の解決をしますが、今回はのび太君が大活躍!!登場人物の「困ったよ～」に気づいて、社協の職員に相談にやってきます。1人ではなかなか「困ったよ～」の発信ができない地域の住民たちですが、「助けられ上手」の専売特許を持っているのび太君ならではの解決をしてくれました。



参加者の中には、「のび太君みたいな人がたくさんいればな～」という感想を持たれた方もいました。自分から困っているという発信をするのは難しいですね。「困っているということをよりみんなに伝えるためにも、お友達同士の交流やお隣さんとの日頃からのお付き合いが大切だね」とのび太君が教えてくれました。

2. 事例をもとに、その人物になりきり「自分ならどうする？」を考えよう！

正解はありません。みなさんもなりきって考えてみてください。

あなたは80代の家事は一切妻に任せっきりの高齢男性です。妻が急に入院しました。当分帰ってこれそうにありません。家にはあなた一人だけ。電化製品の使い方も全然わかりません。島外にいる子どもたちには諸事情があり、頼むことができません。どうする？



あなたは子育て中の2児のお母さんです。夫は夜勤務中。夕食後に長男(2歳)が発熱、嘔吐。時間外診療受診には遠地まで行かねばなりません。上の子ども(小学生)がいるが、両親は遠方のためどうする？

あなたは両親の介護に迫られているキャリアウーマンです。80代の両親と同居する未婚50代女性。大切な会議を控えた時間に、母から「認知症の父が外に出て帰ってこない。」との電話あり。会議の時間は迫る、外は暗くなっている。さてどうする？



誰かを助けてうれしい人がいる。誰かに助けられてうれしい人がいる。「助けようか」「ちょっと助けて」の2つがぴったり合っ助け合いになります。「もうだめだ」と思う前にちょっと誰かに相談してみてください。困った時に頼れる誰かがいることは安心の貯蓄になりますね。